

柁城校区コミュニティ協議会だより

～柁城の未来をともに創る～



令和8年9月1日

第42号

発行責任者 太田 拓夫

残暑の候、校区の皆様にはますますご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素より、柁城校区コミュニティ協議会の活動に関して深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

本号では4月の総会以降、この数か月間に組みとりました様々な活動をご紹介します。三者包括連携協定締結（玉昌会様と七徳会様）の実現に向けた協議は、「自助・共助・公助」のさらなる充実を目指し、地域・医療・行政が手を携える新たな地域づくりへの第一歩となっております。また、柁城小学校の「わくわく学習農園」は、地域が先生となり、畑が教室となる、まさに地域ぐるみの人づくりへの挑戦であります。子どもたちが土に触れ、命を育み、地域の皆様との交流を深めることは、未来の柁城を担う人材育成につながるものと確信しております。

さらに、健康料理教室や健康講話では「健康寿命の延伸」を、六月灯では地域の伝統文化の継承を、神社清掃では郷土への愛着と奉仕の心を、ペタンク大会では世代を超えた交流と親睦を深めることができました。

これらは一見、それぞれ異なる活動のように見えますが、その根底には **「人と人をつなぎ、地域の絆を育む」という共通の願い** が流れています。

人口減少や少子高齢化が進む時代だからこそ、地域の価値は「何を持っているか」ではなく、「どれだけ人と人が支え合えるか」にあると考えます。柁城校区コミュニティ協議会は、これからも地域の皆様とともに知恵を出し合い、汗を流しながら、安全・安心で心豊かな地域づくりを着実に進めてまいります。

令和8年度 第1回自治会長会 7月18日（参加者41名） 事務局



ゴミステーションに関する問題点を協議し、さらに子供達の健康育成に関する事業（わくわく学習農園）を説明しました。

田中自治会 大運動会 6月7日（参加者74名） 総務部会



令和 8 年度ペタンク 5 月 24 日 (参加者 28 名) 健康福祉部会



端山神社六月灯 7 月 3 日 端山自治会
文化・地域推進部会



春日神社六月灯 7 月 26 日 札立自治会
文化・地域推進部



吉原自治会・子供会 六月灯 (7月28日)、七夕飾り (7月19日)

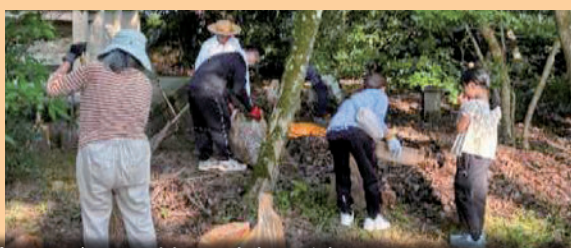


太鼓精矛神社清掃活動、7 月 5 日 (参加者 39 名) 環境・安全部会



太鼓踊りの前に清掃

護国神社清掃活動、8 月 2 日 (参加者 24 名) 環境・安全部会



庭おどりの前に清掃、綺麗になりました。



健康料理教室（参加者 16 名） 7 月 25 日 健康福祉部会
（健康寿命維持のため、サバのハンバーグを作りました。）



健康講話（参加者 35 名）
（脳を活性化する為に、始良市健康コーディネーターの実践講義！）



市長と語る会 8 月 1 日 始良市地域振興課



防災について米丸市長に質問、その他多数の意見が有りました。

「協議会だより」は「始良市公式ホームページ」で閲覧できます。次の◇か○でご覧ください。



◇「始良市役所」を検索→「始良市役所ホームページ」→「暮らし・手続き」→
 「地域・コミュニティ」→「校区コミュニティ協議会」→
 「各校区コミュニティ協議会の紹介」→「柁城校区コミュニティ協議会」と進む。



○アドレス <https://www.city.aira.lg.jp/jichi/kyougikai/dajyoukouku.html> どうぞ！

柁城校区コミュニティ協議会のホームページはこちらからもアクセスできます。

わくわく学習農園体験説明会、参加者(38名) 8月2日 青少年育成部会

柁城小学校新館2Fにて太田会長・有村校長・福元教頭の熱心な説明



皆さん現地説明にて、
色々な作物を想像して興味津々でした。

■計画(予定)

基本第2日曜日の8時から12時を予定していますが、野菜の生育状況等によって変更になります。

回	日時	場所	内容
1	8月2日	柁城小新館	説明会
2	9月13日 7:30	柁城小学校	たまねぎ種まき
3	10月11日	畑	土づくり
4	11月9日	畑	たまねぎ苗植え
5	12月13日	畑	お世話(草抜き、水やり、追肥、観察等)
6	1月10日	畑	お世話(草抜き、水やり、追肥、観察等)
7	2月14日	畑	お世話(草抜き、水やり、追肥、観察等)
8	3月14日	畑	お世話(草抜き、水やり、追肥、観察等)
9	4月11日	畑	収穫をしよう!!

《かもだ通り商店街協同組合より催し物のご案内》

村橋久成 記念事業

開拓使麦酒醸造所 設立150周年

かもだ 薩幌浪漫祭

日本がビールを造りはじめた明治の時代——
北の大地で、その道を切り拓いた。
加治木出身の醸造博士・村橋久成の物語。

Kamoda Sapporo Roman Festival

2026年9月12日(土)

第1部

入場無料

シンポジウム

～村橋久成と開拓使酒造所～

村橋久成の生涯と業績、日本のビール産業の歩みと、開拓と共に語ります。

●会場／給食市商工会 加治木支所

●開演／15:15 ●終演予定／17:15

●登壇者／半田隆雄氏(サッポロビール株式会社)

●司会者／岩川拓夫氏(鹿児島県立美術館)

第2部

4,500円

村橋久成 顕彰交流会

ゆかりのビールの飲み放題や、特産品の食事を楽しみなが、その足跡を思いを馳せる交流会。

●会場／かもだ通り 特設会場

●受付／リブロッビル2F(加治木町本町106)

●開演／18:00

●定員／70名

主催：かもだ通り商店街協同組合

問い合わせ先：FAX. 0995-62-2642 kajiki-kamoda@gmail.com

村橋久成 記念事業

開拓使麦酒醸造所 設立150周年記念 かもだ薩幌浪漫祭

加治木出身の村橋久成が、開拓使官として、日本初の本格的ビール醸造所である開拓使麦酒醸造所(サッポロビールの前身)の設立に尽力してから、本年で150年を迎えます。久成は、日本のビール産業の礎を築くうえで大きな役割を果たした人物ですが、その功績は鹿児島県内においても、まだ十分に知られていないといえます。本事業では、この節目を機に久成の業績を顕彰するとともに、鹿児島と北海道をつなぐ人物としてその歩みを見つめ直し、ゆかりの地である加治木から、久成の功績と生涯を広く発信します。

村橋 久成 (むらはしひさなり) 1842～1892

加治木島津家の分家・村橋家出身の醸造博士。薩摩藩英国留学生としてイギリスに渡る。帰国後は戊辰戦争に加治木大砲隊の隊長として従軍し、明治に入り「北海道開拓使」に任用され日本初の本格的ビール醸造所、「開拓使麦酒醸造所」の建設・開業を主導した。

プログラム

15:15 第1部 シンポジウム開演
15:20 基調講演「開拓使麦酒醸造所150年」
16:15 トークセッション
17:15 第1部 終演予定

18:00 第2部 村橋久成 顕彰交流会 開演
19:30 第2部 終演予定

※第1部は入場無料、第2部は会費4,500円です
※第2部からでもご参加いただけます

会場MAP

会場MAPはQRコードでダウンロードいただけます。

ご来場にあたって

- ・駐車場には限りがございます。乗り合わせでの来場や公共交通機関利用の来場に協力ください。
- ・飲酒運転は絶対におやめいただき、運転代行サービスのご利用をお願いいたします。
- ・第2部は事前予約制のため、お申し込みにご協力ください。
- ・第2部は、オプション申込により特設グラスのギフト付きでご参加いただけます。詳細は申込申込WEBフォームをご覧ください。

柁城校区コミュニティ協議会事務局 (加治木支所西側 加治木保健センター2階)

■事務所 (開所曜日 & 時間)
月、火、水、金 9:00～16:00

■TEL: 0995-56-8981
■FAX: 0995-56-8982